

§ 2

芹ヶ谷公園"芸術の杜"のコンセプト

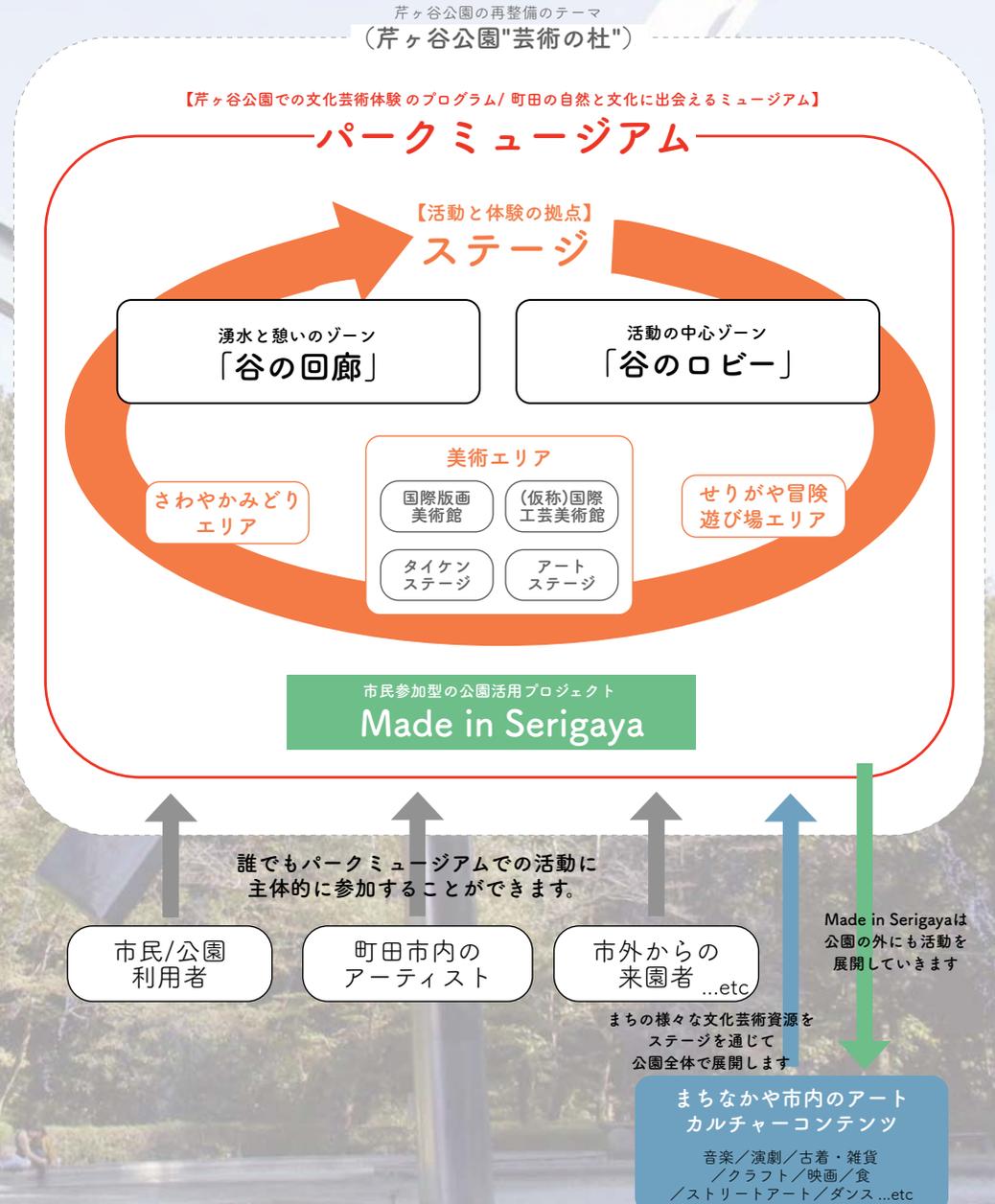
町田の自然と文化に出会える
パークミュージアム

芹ヶ谷公園と（仮称）国際工芸美術館を一体的に整備するに当たり、「芸術の杜」のコンセプトを「パークミュージアム」と名付けました。公園の価値と資源を活かし、まちなかの賑わいと連携させていくことで、町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する場となることを目指しています。

パークミュージアムは通常の博物館や美術館のように展示されているものを鑑賞するだけでなく、町田の多様な文化芸術の活動や公園の豊かな自然を体験しながら学び楽しむことができる新しい体験型の公園です。公園内の様々な場所に配置される「ステージ」は、それぞれの空間にあわせた特徴や機能を持っています。ステージで展開される活動は多様です。アーティストなどによる芸術活動はもちろん、遊びや憩い、スポーツや交流などもパークミュージアムにおける大切な文化的活動であり、公園に関わる誰もが主体的に関わることができます。

パークミュージアムはまさに多彩な町田の文化の集積であると同時に新しい文化が創造されていく場として誰にとってもいつでも新しい発見ができる場所です。

▶プロジェクト全体ダイアグラム



パークミュージアムのイメージビジュアル

芹ヶ谷公園全体をフィールドとして様々な活動が展開されていく芹ヶ谷公園の将来像のイメージです。芹ヶ谷公園の整備や公園を積極的に活用していくための取り組みを通じて、このような風景が芹ヶ谷公園やまちなかに生まれていくことを目指します。



※イラストは、これまでに集まった様々なアイデアをもとに芹ヶ谷公園が活用されている様子のイメージです

パークミュージアムにおける公園活用アイデア

この公園活用アイデア集は面白がる会等のワークショップ等で出たアイデアをまとめたものです。近年、公園等の公共空間の活用を取り巻く環境は変化しており、都市公園法の改正による規制緩和など、都市公園を一層柔軟に使いこなす視点が重視されてきています。 芦ヶ谷公園の再整備においても、これまでのルールや固定観念にとらわれず、素直な気持ちでだれもが本当に楽しめる公園の使い方を考えてみるのが重要だと考えます。まずは、多様な人の柔軟な発想による「こういうことがしたい」「こういう空間が欲しい」というアイデアをより多くの人と共有することで、多くの人に愛され本当に使われる公園の将来像を探っていきます。

自然体験

食

芸術

芦ヶ谷公園で〇〇を楽しみたい！

遊び

快適

その他

バーベキュー
かまぼこ
花火も。

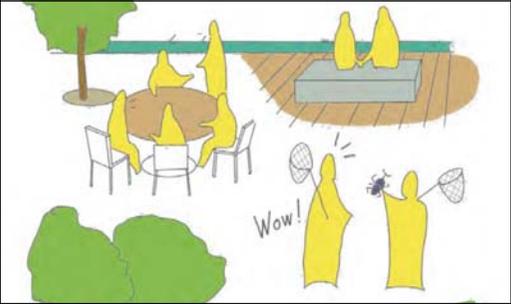
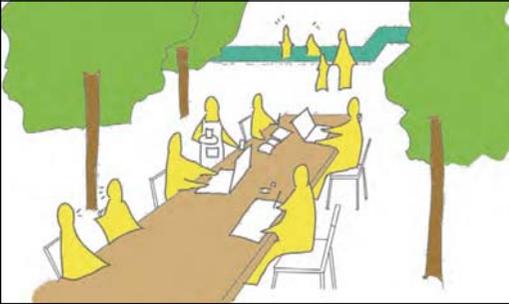
ハンモック

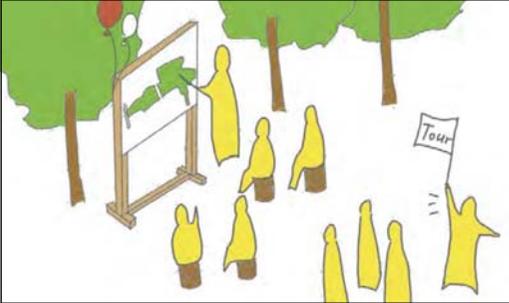
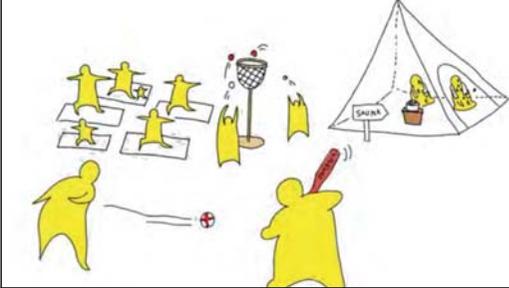
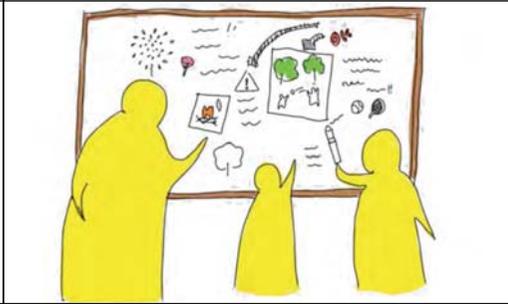
サウナ
水

No.01	自然体験
自然をもっと積極的に楽しみたい	
<p>【idea】ツリーハウス団地/木のぼりの森/木のオーナーになる/でっかい穴をほる(井戸もあり!!土器を見つけるのもアリ!!)/駅から近いところでサバイバル体験、火をおこす、食料を採る、テントをはるなど/水遊び/自然見学会/屋外子育て広場</p>	
No.02	自然体験
アウトドアを楽しみたい	
<p>【idea】グランピング(自然を楽しむ、夜のお楽しみ)/テント(ティビ)ライトアップ(夜の公園活用)/泊まれるところ、キャンプ/たき火/キャンプファイヤー/バーベキューや花火/星、月、自然を夜楽しむ公園体験(大人が本気で遊ぶ)/雑草おじさん(食べられるものを見極めてくれる)</p>	

No.03	自然体験
動物や生き物とふれあいたい	
<p>【idea】はたる、カブトムシ、ザリガニなどの生息場所がわかる自然マップがあるといい/カブトムシのキャッチ&リリース/釣り堀があったらいい/ドッグラン/犬と一緒に遊べる場所を設定(ドッグランに限らず、お互いの配慮で気持ちよく!)/バードウォッチング</p>	
No.04	芸術
ライブやパフォーマンスをしたい	
<p>【idea】パフォーマンスができる場所がほしい/自由に使えるピアノ、500円で誰でも弾ける、投げ銭welcome!/美術館ホールで踊ったり/野外ステージ/歌える踊れるステージ/少人数規模で日によって異なる様々なジャンルの音楽のコンサートを定期的に開催したい</p>	
No.05	芸術
創作活動したい	
<p>【idea】芦ヶ谷公園の土で陶芸をできたらよい/自由に絵をかける/秘密基地(大人版)を作って童心に帰れる/公園発→駅へ気球をつくって飛ばしたい/「木」を使った体験講座。木の枝、おもちゃ、炭づくり、木工/家をつくる(災害時に備えて、サバイバル技術を身につけよう!)</p>	
No.06	芸術
展示や発表をしたい	
<p>【idea】公園でうまれたアートを展示する美術館/市民が作ったものを展示する美術館/自分が自分らしくいられる美術館がほしい!子育てにもいい◎/市民による企画展、個展/展示場、アート展示会/芦ヶ谷公園の施設内でワークショップで作られた市民・子どもたちの作品を展示</p>	
No.07	遊び
ここでしかできない、特別な遊びをしたい	
<p>【idea】公園お花け屋敷(肝だめし presented by 子どもたちとシニア)/白い壁があると映画をみたり壁打ちしたり、裏には落書きもできる/芦ヶ谷ソラ公園、ドローン、タコあげ、ブーメラン、花火/大規模実験(コーラパーク)</p>	
No.08	遊び
雨や雪でも楽しみたい	
<p>【idea】雪を集める公園/雨の日限定でウォータースライダー/雨の後でもすぐ座れる水はけのいいベンチ/雨の日、夏の日差しをきつい日にも行きやすいように屋根があるといい/全天候対応の広場(雨だからこそ行ける場所)/泥んこになって遊びたい(大人も!!)/ドロにまみれたい!</p>	

パークミュージアムにおける公園活用アイデア

No.09	食	No.10	快適
食を楽しみたい		気持ちよくくつろぎたい	
			
<p>【idea】みんなで作るコミュニティカフェ/寺子屋カフェ/芹ヶ谷でコーヒーのみたい。カフェ/四季毎にマルシェなど/芹ヶ谷でお茶を育て、つんで飲んで、飲む、芹ヶ谷公園オリジナル茶/キッチン(BBQ以外)/いろいろ(みんなでご飯を食べる)/お酒をつくる(芹ヶ谷ビール)</p>		<p>【idea】巨大ソファでリラックス公園/公園全体にやわらかいふかふかしたものを敷く/本をよむ(公園の好きな所で!!みんな静かに)/夏は暑いので公園のベンチに屋根(ソーラーパネルとか)があるとき!!/"お昼寝ハンモック"おひとり様ですこせる場所</p>	
No.11	快適	No.12	快適
電源やインフラを充実して 利便性や防災性を高めたい		もっと気軽に安心して利用したい	
			
<p>【idea】Wi-Fiとベンチで充電/聞きたいときに聴けるFMラジオ局(公園専用)/自然の管理と整備。湧き水と緑の整備=資源として活用 ex防災用/災害(多い!)時のテント生活を想定し、公園でキャンプやたきだし体験を定期的に行うとよい。(テントも貸してくれると良い)</p>		<p>【idea】子どもだけで遊べるエリアをつくる/誰でも使えるよりどころを作る/明るいイメージ作り、看板など、敷地内巡回するバス/芹ヶ谷公園お母さんDay/見まもりシェア(みんなで子どもをみまもる)/パウダールームとして使える/インクルーシブ公園</p>	
No.13	交流	No.14	働く
色々な人と交流したい		気持ちよく仕事をしたい	
			
<p>【idea】外国の子どもと地元の虫とり少年と交流ができたら良い/おじいさんおばあさんの超オシャレな社交場/哲学カフェ、老若男女のコミュニティ/彼女と座れるベンチ。オシャレにデートに最適!/オシャレなテラス付レストラン/レンタルスペース/シェアキッチン/シェアカフェ</p>		<p>【idea】お母さんたちが日替わりで個性を生かして出店できるようなシェアカフェができるといい!/この公園を通して雇用を生めたい!!町田のお母さんは町田ではたらきたい!/芹ヶ谷コワーキング「仕事ができる公園」都心にでなくても働ける/美術関係のワークスペース</p>	

No.15	学ぶ	No.16	イベント
新しい学びを得たい		色々なイベントがしたい	
			
<p>【idea】公園学校(壁はいらない、囲まれていない開放感)/子どもたちにやってはいけないことを教えられる、そして"できる"公園に/本を持ちよって青空図書館(利用者が管理)/学校連携による芹ヶ谷教室、芹ヶ谷を教材に!//"面白い"大人公園、大人が子供に教えられる場所</p>		<p>【idea】町田の店だけのフードフェス/いやしをテーマにしたヨガや音楽のフェス/仲見世のお店が芹ヶ谷に集合/とりあえず芹ヶ谷へ、毎日なにかやっている/大型スクリーンでゼルビアのPV/町田市学校集めてスクールフェス/お泊まり美術館/子どもたちによる子どもたちのイベント</p>	
No.17	スポーツ/健康	No.18	菜園/農園/ガーデニング
スポーツなどで体を動かしたい、健康になりたい		植物を育てたい	
			
<p>【idea】泥んこスポーツ(鬼ごっこなど)/サバイバル公園(陣取り合戦、サブゲー)/毎日運動会/サウナと水(サウナで温まったら、噴水へ直行!!)/何も持ってなくてもスポーツができる/様々なスポーツ体験。スポーツも文化芸術!/ヨガ/散歩</p>		<p>【idea】農家の畑か直売所(生産→食べるまでぜんぶできる)/みんなの菜園公園/段々畑があるとよい/農園/森と水があるので、農家とかと連携して「菜園」とかあると良い(ワサビとか)、その野菜を月に1回子どもと一緒に売り出し食ったり/花、自然/農を体験できる公園</p>	
No.19	移動/まち	No.20	仕組みづくり
公園に行くまでを楽しみたい		公園で楽しむ仕組みをみんなで考えたい	
			
<p>【idea】迷路の魅力(入り口のわかりづらさ)を逆に取る、町から公園までも楽しむ、色々なところからアプローチする/公園に行くまでの空いている施設を使って通りを活性化!/交通の便、ミニバス、周辺住民や大学等を視野に入れる/レンタサイクル/バス(企業間コラボ)</p>		<p>【idea】公園をキレイにするたびにポイントがたまる「公園サポーターポイント」があったら良い/制限をしない場の提供/財源確保のために市民や民間企業から募る、クラウドファンディング/自分たちでルールを決めてできる公園</p>	

市民参加型の公園活用プロジェクト「Made in Serigaya」について

▶市民参加型の公園活用プロジェクト「Made in Serigaya」

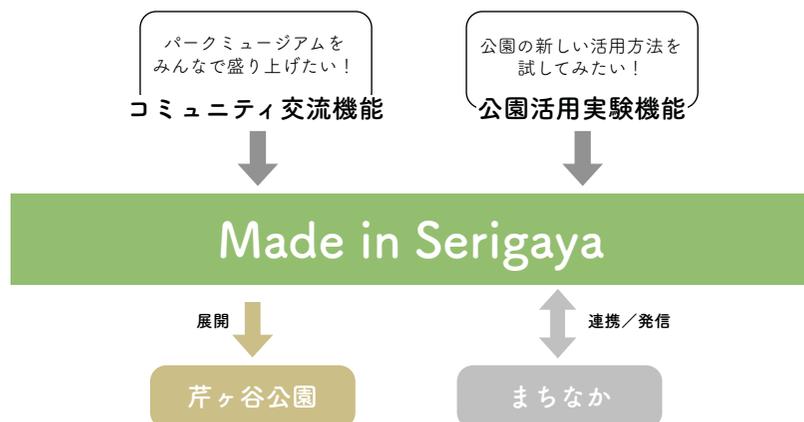


パークミュージアムの実現にむけて、様々な"公園で〇〇したい"という声を集め、実際に様々な公園活用の取り組みをおこなっていくための市民参加型プラットフォームが「Made in Serigaya(メイドイン芹ヶ谷)」です。ここから生まれたアイデアやプロジェクトは、パークミュージアムの取り組みとして芹ヶ谷公園の新たな魅力となっていくことを目指します。芹ヶ谷公園から市民が主体となって町田の文化や自然の魅力を発信し、さらに芹ヶ谷公園から新しい文化を生み出していこうという思いから「Made in Serigaya」と名付けました。

※シンボルマークについて

芹ヶ谷公園から生まれていく新しい活動が世界に羽ばたいていく象徴、そして公園や自由を想起させるモチーフとして鳥をシンボルマークにしました。芹ヶ谷公園の特徴である豊かな木々の「緑」と湧き水の「水色」をテーマカラーとしています。また単純な形の組み合わせによるデザインは老若男女誰もが親しみやすく、かつ積み木のようなイメージで市民が自らの手で文化をつくりあげていくDIY精神を象徴しています。半円が斜めにずれて重なる図形はSerigayaのSの隠れ文字にもなっています。

▶Made in Serigayaの役割と機能について



▶Made in Serigayaの主な活動について

コミュニティ形成と公園活用アイデアの抽出



芹ヶ谷公園を活用していくための開かれたコミュニティとして、多様な人々が交流しながら定期的に作戦会議を開催したり公園活用実験の企画を生み出していくためのプラットフォームとなります。芹ヶ谷公園をもっと良くしていきたいという思いがあれば誰もが参加でき、行政も一体になりながら、芹ヶ谷公園がより誰もが使いやすくやってみようを実現できる場となるように、様々な取り組みにチャレンジしていきます。

公園活用実証実験やイベントの企画実施



パークミュージアムの実現に向けて様々な芹ヶ谷公園の活用実証実験を展開していきます。また、町田の多様な文化芸術や公園の豊かな自然を学び楽しむことができる体験型の活動を、実際にみんなで持ち寄り一緒に企画したりしながら、芹ヶ谷公園で実践してみる公園活用イベントなども企画実施していくことで、パークミュージアムだからこそ実現できる町田らしい様々な取り組みが一同に集まる特別な場を生み出していくことも目指します。そして、それらの取り組みを通じてパークミュージアムのコンセプトの共有やメイドイン芹ヶ谷の活動紹介などの情報発信も担っていきます。

市民参加型の公園活用プロジェクト「Made in Serigaya」について

2019 8/24 スタートアップミーティング

芹ヶ谷公園“芸術の杜”プロジェクトの検討をはじめにあって、プロジェクトの趣旨や目指すべき方向性について、そしてこれからの進め方などを市民の皆様様に説明する会として、スタートアップミーティングを開催しました。



2019 9/29 町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の未来を考える編

課題解決型アイデア出しイベント「面白がる会」を開催しました。第1回は芹ヶ谷公園の現状の課題をディスカッションしました。



2020 2/22 パークミュージアムラボ#1 "〇〇したい"を叶える公園の使い方

記念すべきパークミュージアムラボの第1回は、「プレイスメイキング」著者の園田聡さんをゲストにおむかえして開催しました。



2020 4/28 パークミュージアムラボ特別編 うちで考えるこれからの公園

生まれなくても公園の未来を考えるオンラインイベントを、南池袋公園の運営に携わる青木純さんをゲストに開催しました。



2019 10/10 公園の未来を面白がる会

10月には番外編として、町田市民ではない人々にも知恵を借りようとして場所を変えて東京の茅場町にて面白がる会を開催しました。



2019 11/4 町田を面白がる会 芹ヶ谷公園の新たな使い方を考える編

第1回で抽出した課題と番外編で生まれたアイデアをヒントにしながら、芹ヶ谷公園の新たな使い方をみんなで考えました。



2020 5月～ Made in Serigaya アジト

どんな公園の使い方ができるかを考えるオンラインミーティングを重ね、まずは自分たちで芹ヶ谷公園を実際に楽しんでみようとして「小さな公園活用実験」を実施しました。



2020 6/19 パークミュージアムラボ#2 親子にとっての公園のある豊かな暮らしとは？

オンラインでのパークミュージアムラボの第2弾として、親子にとっての公園のある豊かな暮らしをテーマに座談会を開催しました。

2020 8/7 パークミュージアムラボ#3 公園を舞台としたアートの可能性 -アートのある公園が創る新たな未来-

アートのある公園が創る新たな未来を発見するトークセッションを実施し、「公園を舞台としたアートの可能性」について様々な角度から語り合いました。

2020 1/26 パークミュージアムラボ#0 ファイアーミーティング/まだ見たことのない光・幻想公園

芹ヶ谷公園活用実験の具体的な取組みのひとつである「パークミュージアムラボ」。そのプレイベントとして、これまで集めた「公園で〇〇したい」というアイデアの中から「たき火」「食を楽しむ」を実証実験として組み込んだ「ファイアーミーティング」と、桜美林大学と連携した光を使ったインスタレーションを実施しました。



2020 11/14,15 Future Park Lab 芹ヶ谷公園の将来の姿を想像する

将来の芹ヶ谷公園の風景を実現する取組として、ライブペインティング、公園宿泊、ライトアップ、アート展示などを行いました。

